

(再評価)

資料 3-2-②

平成30年度 第3回
関東地方整備局
事業評価監視委員会

一般国道246号 秦野IC関連事業

平成30年11月20日
国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道246号	秦野IC関連事業	L = 0.75 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,000	2	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	99億円	12億円	110億円
うち残事業分	57億円	12億円	69億円
基準年における 現在価値 (C)	98億円	4.6億円	103億円
うち残事業分	54億円	4.6億円	59億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	5.3億円	0.62億円	0.20億円	6.2億円
基準年における 現在価値 (B)	100億円	12億円	3.6億円	116億円
うち残事業分	100億円	12億円	3.6億円	116億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	13億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.7%
費用便益比（残事業）	2.0
経済的純現在価値（残事業）	57億円
経済的内部収益率（残事業）	9.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,000台/日	±10%	0.96~1.4
事業費	99億円	±10%	1.1~1.2
事業期間	20年	±20%	1.1~1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,000台/日	±10%	1.7~2.5
事業費	57億円	±10%	1.8~2.2
事業期間	2年	±20%	1.9~2.0

交通状況の変化

事業名：一般国道246号秦野IC関連事業（事業全体・残事業）

（推計時点 H 4 2 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [秦野IC関連事業] : 0.75km	交通量	[台/日]	-	3,000	
	走行時間	[分]	-	1	
	走行時間費用	[億円/年]	-	0.61	
②主な周辺道路※4	国道246号: 6.34km	交通量	[台/日]	20,600	20,500
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	49.95	49.67
	県道705号・ 市道 : 2.70km	交通量	[台/日]	10,200	8,600
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.85	8.64
	県道706号・ 市道 : 1.34km	交通量	[台/日]	11,100	10,300
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	5.95	5.34
	市道 : 3.39km	交通量	[台/日]	6,200	5,400
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	8.56	7.18
③その他道路合計 : 178.48km	走行時間費用	[億円/年]	544.58	543.07	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 193.00km	走行時間短縮便益	[億円/年]	619.89	614.52	5.38

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

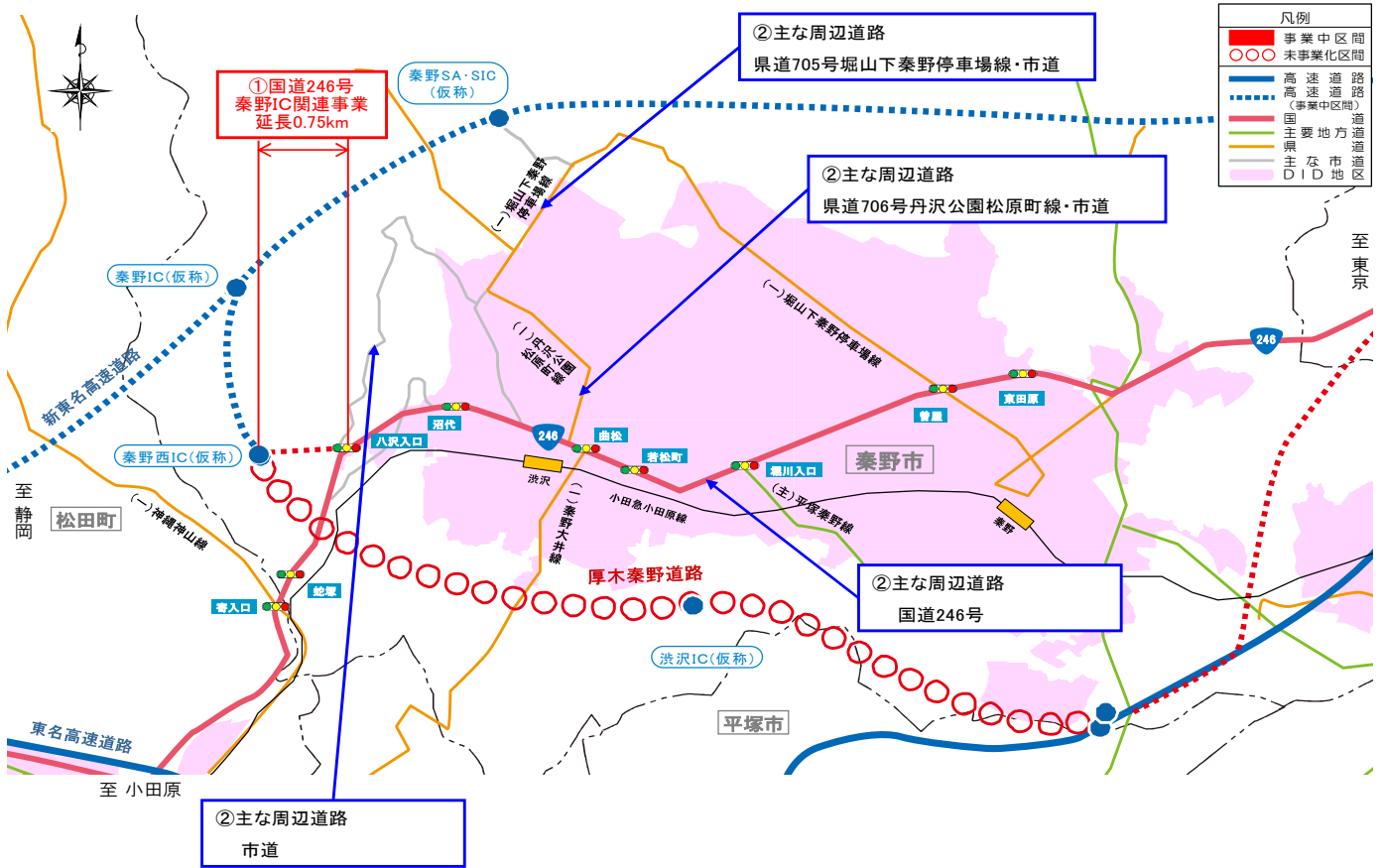
※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：一般国道246号秦野IC関連事業（事業全体・残事業）

【位置図（①、②に該当する道路を示す。）】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道246号秦野IC関連事業

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 <input checked="" type="checkbox"/> (平成42年) 複数時点での推計 <input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計 <input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路センサをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) <input checked="" type="checkbox"/> (H22センサ)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) <input type="checkbox"/>
		その他() <input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無 <input checked="" type="checkbox"/>
		有 <input type="checkbox"/>
		有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分 <input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分 <input type="checkbox"/>		
Q-V式と転換率式の併用による配分 <input checked="" type="checkbox"/>		
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) <input type="checkbox"/>		
簡易手法 <input type="checkbox"/>		
簡易手法の採択理由 小規模事業である <input type="checkbox"/>		
山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/>		
その他() <input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 <input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 <input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	
その他() <input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：一般国道246号秦野IC関連事業（事業全体）				単価（億円）		延長（km）		単純価値（億円）	
				0.33		0.75		0.25	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）			
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-20年目	H13	1.9479	112.4	0.25	0.44	-	-	-	-
-19年目	H14	1.8730	110.5	0.25	0.43	-	-	-	-
-18年目	H15	1.8009	109.0	0.25	0.42	-	-	-	-
-17年目	H16	1.7317	107.9	0.44	0.72	-	-	-	-
-16年目	H17	1.6651	106.7	0.10	0.15	-	-	-	-
-15年目	H18	1.6010	105.9	0.12	0.19	-	-	-	-
-14年目	H19	1.5395	105.0	0.10	0.14	-	-	-	-
-13年目	H20	1.4802	104.4	0.01	0.01	-	-	-	-
-12年目	H21	1.4233	103.0	0.02	0.03	-	-	-	-
-11年目	H22	1.3686	101.3	0.10	0.13	-	-	-	-
-10年目	H23	1.3159	99.8	0.10	0.14	-	-	-	-
-9年目	H24	1.2653	99.0	2.10	2.75	-	-	-	-
-8年目	H25	1.2167	99.0	3.03	3.83	-	-	-	-
-7年目	H26	1.1699	101.5	3.41	4.04	-	-	-	-
-6年目	H27	1.1249	103.0	3.49	3.92	-	-	-	-
-5年目	H28	1.0816	102.8	8.90	9.62	-	-	-	-
-4年目	H29	1.0400	102.8	6.84	7.11	-	-	-	-
基準年	H30	1.0000	102.8	11.79	11.79	-	-	-	-
-2年目	H31	0.9615	102.8	36.30	34.90	-	-	-	-
-1年目	H32	0.9246	102.8	21.08	19.49	-	-	-	-
供用開始年次	H33	0.8890	102.8	-	-	0.23	0.21	-	-
1年目	H34	0.8548	102.8	-	-	0.23	0.20	-	-
2年目	H35	0.8219	102.8	-	-	0.23	0.19	-	-
3年目	H36	0.7903	102.8	-	-	0.23	0.18	-	-
4年目	H37	0.7599	102.8	-	-	0.23	0.18	-	-
5年目	H38	0.7307	102.8	-	-	0.23	0.17	-	-
6年目	H39	0.7026	102.8	-	-	0.23	0.16	-	-
7年目	H40	0.6756	102.8	-	-	0.23	0.16	-	-
8年目	H41	0.6496	102.8	-	-	0.23	0.15	-	-
9年目	H42	0.6246	102.8	-	-	0.23	0.14	-	-
10年目	H43	0.6006	102.8	-	-	0.23	0.14	-	-
11年目	H44	0.5775	102.8	-	-	0.23	0.13	-	-
12年目	H45	0.5553	102.8	-	-	0.23	0.13	-	-
13年目	H46	0.5339	102.8	-	-	0.23	0.12	-	-
14年目	H47	0.5134	102.8	-	-	0.23	0.12	-	-
15年目	H48	0.4936	102.8	-	-	0.23	0.11	-	-
16年目	H49	0.4746	102.8	-	-	0.23	0.11	-	-
17年目	H50	0.4564	102.8	-	-	0.23	0.11	-	-
18年目	H51	0.4388	102.8	-	-	0.23	0.10	-	-
19年目	H52	0.4220	102.8	-	-	0.23	0.10	-	-
20年目	H53	0.4057	102.8	-	-	0.23	0.09	-	-
21年目	H54	0.3901	102.8	-	-	0.23	0.09	-	-
22年目	H55	0.3751	102.8	-	-	0.23	0.09	-	-
23年目	H56	0.3607	102.8	-	-	0.23	0.08	-	-
24年目	H57	0.3468	102.8	-	-	0.23	0.08	-	-
25年目	H58	0.3335	102.8	-	-	0.23	0.08	-	-
26年目	H59	0.3207	102.8	-	-	0.23	0.07	-	-
27年目	H60	0.3083	102.8	-	-	0.23	0.07	-	-
28年目	H61	0.2965	102.8	-	-	0.23	0.07	-	-
29年目	H62	0.2851	102.8	-	-	0.23	0.07	-	-
30年目	H63	0.2741	102.8	-	-	0.23	0.06	-	-
31年目	H64	0.2636	102.8	-	-	0.23	0.06	-	-
32年目	H65	0.2534	102.8	-	-	0.23	0.06	-	-
33年目	H66	0.2437	102.8	-	-	0.23	0.06	-	-
34年目	H67	0.2343	102.8	-	-	0.23	0.05	-	-
35年目	H68	0.2253	102.8	-	-	0.23	0.05	-	-
36年目	H69	0.2166	102.8	-	-	0.23	0.05	-	-
37年目	H70	0.2083	102.8	-	-	0.23	0.05	-	-
38年目	H71	0.2003	102.8	-	-	0.23	0.05	-	-
39年目	H72	0.1926	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
40年目	H73	0.1852	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
41年目	H74	0.1780	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
42年目	H75	0.1712	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
43年目	H76	0.1646	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
44年目	H77	0.1583	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
45年目	H78	0.1522	102.8	-	-	0.23	0.04	-	-
46年目	H79	0.1463	102.8	-	-	0.23	0.03	-	-
47年目	H80	0.1407	102.8	-	-	0.23	0.03	-	-
48年目	H81	0.1353	102.8	-	-	0.23	0.03	-	-
49年目	H82	0.1301	102.8	-17.90	-2.33	0.23	0.03	-	-
合計				80.76	97.92	11.56	4.59		
単純事業費計				98.66		11.56			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：一般国道246号秦野IC関連事業（残事業）				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-20年目	H13	1.9479	112.4	-	-	-	-
-19年目	H14	1.8730	110.5	-	-	-	-
-18年目	H15	1.8009	109.0	-	-	-	-
-17年目	H16	1.7317	107.9	-	-	-	-
-16年目	H17	1.6651	106.7	-	-	-	-
-15年目	H18	1.6010	105.9	-	-	-	-
-14年目	H19	1.5395	105.0	-	-	-	-
-13年目	H20	1.4802	104.4	-	-	-	-
-12年目	H21	1.4233	103.0	-	-	-	-
-11年目	H22	1.3686	101.3	-	-	-	-
-10年目	H23	1.3159	99.8	-	-	-	-
-9年目	H24	1.2653	99.0	-	-	-	-
-8年目	H25	1.2167	99.0	-	-	-	-
-7年目	H26	1.1699	101.5	-	-	-	-
-6年目	H27	1.1249	103.0	-	-	-	-
-5年目	H28	1.0816	102.8	-	-	-	-
-4年目	H29	1.0400	102.8	-	-	-	-
基準年	H30	1.0000	102.8	-	-	-	-
-2年目	H31	0.9615	102.8	36.30	34.90	-	-
-1年目	H32	0.9246	102.8	21.08	19.49	-	-
供用開始年次	H33	0.8890	102.8	-	-	0.23	0.21
1年目	H34	0.8548	102.8	-	-	0.23	0.20
2年目	H35	0.8219	102.8	-	-	0.23	0.19
3年目	H36	0.7903	102.8	-	-	0.23	0.18
4年目	H37	0.7599	102.8	-	-	0.23	0.18
5年目	H38	0.7307	102.8	-	-	0.23	0.17
6年目	H39	0.7026	102.8	-	-	0.23	0.16
7年目	H40	0.6756	102.8	-	-	0.23	0.16
8年目	H41	0.6496	102.8	-	-	0.23	0.15
9年目	H42	0.6246	102.8	-	-	0.23	0.14
10年目	H43	0.6006	102.8	-	-	0.23	0.14
11年目	H44	0.5775	102.8	-	-	0.23	0.13
12年目	H45	0.5553	102.8	-	-	0.23	0.13
13年目	H46	0.5339	102.8	-	-	0.23	0.12
14年目	H47	0.5134	102.8	-	-	0.23	0.12
15年目	H48	0.4936	102.8	-	-	0.23	0.11
16年目	H49	0.4746	102.8	-	-	0.23	0.11
17年目	H50	0.4564	102.8	-	-	0.23	0.11
18年目	H51	0.4388	102.8	-	-	0.23	0.10
19年目	H52	0.4220	102.8	-	-	0.23	0.10
20年目	H53	0.4057	102.8	-	-	0.23	0.09
21年目	H54	0.3901	102.8	-	-	0.23	0.09
22年目	H55	0.3751	102.8	-	-	0.23	0.09
23年目	H56	0.3607	102.8	-	-	0.23	0.08
24年目	H57	0.3468	102.8	-	-	0.23	0.08
25年目	H58	0.3335	102.8	-	-	0.23	0.08
26年目	H59	0.3207	102.8	-	-	0.23	0.07
27年目	H60	0.3083	102.8	-	-	0.23	0.07
28年目	H61	0.2965	102.8	-	-	0.23	0.07
29年目	H62	0.2851	102.8	-	-	0.23	0.07
30年目	H63	0.2741	102.8	-	-	0.23	0.06
31年目	H64	0.2636	102.8	-	-	0.23	0.06
32年目	H65	0.2534	102.8	-	-	0.23	0.06
33年目	H66	0.2437	102.8	-	-	0.23	0.06
34年目	H67	0.2343	102.8	-	-	0.23	0.05
35年目	H68	0.2253	102.8	-	-	0.23	0.05
36年目	H69	0.2166	102.8	-	-	0.23	0.05
37年目	H70	0.2083	102.8	-	-	0.23	0.05
38年目	H71	0.2003	102.8	-	-	0.23	0.05
39年目	H72	0.1926	102.8	-	-	0.23	0.04
40年目	H73	0.1852	102.8	-	-	0.23	0.04
41年目	H74	0.1780	102.8	-	-	0.23	0.04
42年目	H75	0.1712	102.8	-	-	0.23	0.04
43年目	H76	0.1646	102.8	-	-	0.23	0.04
44年目	H77	0.1583	102.8	-	-	0.23	0.04
45年目	H78	0.1522	102.8	-	-	0.23	0.04
46年目	H79	0.1463	102.8	-	-	0.23	0.03
47年目	H80	0.1407	102.8	-	-	0.23	0.03
48年目	H81	0.1353	102.8	-	-	0.23	0.03
49年目	H82	0.1301	102.8	-	-	0.23	0.03
合計				57.38	54.39	11.56	4.59
単純事業費計				57.38		11.56	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	秦野IC関連事業	2	0.75 km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費					4,214	
改良費					2,157	
	土工		式	1	577	
	軟弱地盤工		m3		0	
	法面工		m2	12,372	6	
	擁壁工		式	1	116	
	管渠工		m	330	27	
	函渠工		式	1	960	
	排水工		m	1,600	81	
	中央分離帯工		m	710	26	
	雑工		式	1	364	
橋梁費					1,583	
	100m以上		m	158	1,583	
	100m未満		m	0	0	
トンネル費					0	
	NATM		m	0	0	
	シールド		m	0	0	
IC・JCT費					0	
	IC		箇所	0	0	
	JCT		箇所	0	0	
	料金徴収施設		箇所	0	0	
舗装費					423	
	車道舗装		m2	19,773	395	
	歩道舗装		m2	2,790	28	
付帯施設費					51	
	交通管理施設工		式	1	51	
	遮音壁		m	0	0	
②用地及補償費					2,642	
用地費					1,790	
	宅地		m2	11,116	1,144	
	田畑		m2	13,811	569	
	山林・原野		m2	17,210	77	
	その他		m2	0	0	
補償費					852	
③間接経費					3,644	測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					10,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	秦野IC関連事業	2	0.75 km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費					3,961	
改良費					1,904	
	土工		式	1	324	
	軟弱地盤工		m3		0	
	法面工		m2	12,372	6	
	擁壁工		式	1	116	
	管渠工		m	330	27	
	函渠工		式	1	960	
	排水工		m	1,600	81	
	中央分離帯工		m	710	26	
	雑工		式	1	364	
橋梁費					1,583	
	100m以上		m	158	1,583	
	100m未満		m	0	0	
トンネル費					0	
	NATM		m	0	0	
	シールド		m	0	0	
IC・JCT費					0	
	IC		箇所	0	0	
	JCT		箇所	0	0	
	料金徴収施設		箇所	0	0	
舗装費					423	
	車道舗装		m2	19,773	395	
	歩道舗装		m2	2,790	28	
付帯施設費					51	
	交通管理施設工		式	1	51	
	遮音壁		m	0	0	
②用地及補償費					100	
用地費					0	
	宅地		m2	0	0	
	田畑		m2	0	0	
	山林・原野		m2	0	0	
	その他		m2	0	0	
補償費					100	
③間接経費					2,136	測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					6,197	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
国道246号	秦野IC関連事業	2	0.75km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	0.75	250	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,000	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			1,250	

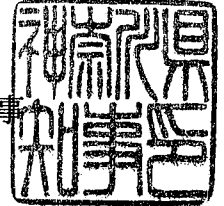
【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

道企第1394号
平成30年11月9日

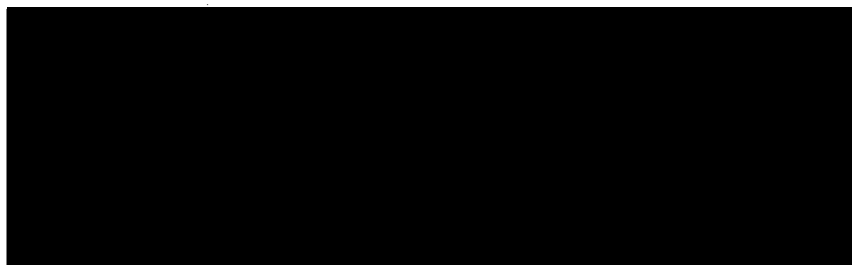
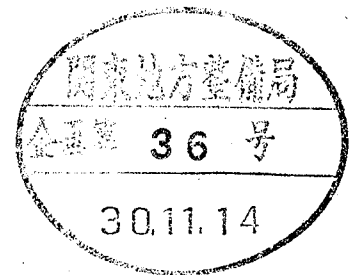
国土交通省関東地方整備局長 殿

神奈川県知事



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成30年10月30日付け国関整企画第169号で照会のありました標記につ
いて、別添のとおり回答します。



(再評価)

(回答様式)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	神奈川県知事の意見
一般国道246号 秦野IC関連	継続	別紙のとおり

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【別紙】

一般国道 246 号の秦野インターチェンジ関連事業は、県土の骨格を形成する新東名高速道路と一般国道 246 号を接続し、交通利便性の向上や地域の活性化、救急活動の支援などに寄与する重要な事業である。

そこで、新東名高速道路の事業に遅れることなく、本事業を引き続き促進し、着実な整備を図るようお願いしたい。

また、事業費については、コスト縮減など、より効率的な事業推進に努めていただきたい。